

～「この1年間に経験した」と「今後やってみたい」学び事・習い事～
ケイコとマナブ 2017年 人気おケイコランキング
 <ミドル層 35～49歳 女性・男性> <シニア層 50～69歳 女性・男性>

- 男女、ミドル・シニアすべての年齢帯で「英語」が1位に。
- 女性では、仕事系の目的よりも、ストレス発散や自らの健康維持を目的とした学び事が人気を集める。
- ミドル男性では調査開始以来はじめて「ビジネススクール・MBA」がランクイン。

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：山口 文洋）が企画・運営する講座・レッスンの資料請求・予約サイト『ケイコとマナブ.net』は、学び事・習い事事情を把握するため、全国の働く男女を対象に「人気おケイコランキング」調査を実施しています。今回はそのうち、ミドル層（35～49歳）、シニア層（50～69歳）について調査結果がまとまりましたので、その結果をご報告いたします。なお、アンケートの結果は『ケイコとマナブ.net』ニュースページでも紹介しています。
 『ケイコとマナブ.net』のニュースページはこちら：<http://www.keikotomanabu.net/news/>

結果の要約

女性

人気おケイコランキング

…P.4～7

- ミドル・シニアともに「英語」が「ヨガ・ピラティス」を抑え1位に。
- 学ぶ目的は「ストレス発散・気分転換のため」「プライベートを充実させるため」など趣味系の習い事につながりやすい目的がミドル・シニアともに上位を占めた。

ミドル・シニアともに「英語」が1位に。ミドル層では回答率を大きく上昇させた。学ぶ手段を見ると、ミドル層では動画・オンライン教授・アプリなどのスマホ・PC利用、シニア層ではカルチャーセンターや公民館、講習会などの地域密着型の学びが特徴的。またミドル・シニアとも仕事関連の学び事よりも趣味系のジャンルに関心が集まった。その中で、シニア女性では14位に「ワード・エクセル」が大きく順位を上げてランクイン。好調な求人環境のなか新たに就業をめざして学ぶ層に選ばれていると思われる。

男性

人気おケイコランキング

…P.8～11

- ミドル・シニアともに「英語」が圧倒的人気。
- ミドルでは仕事・キャリア関連の目的が実施目的の上位となり、「ビジネススクール・MBA」が初めてランクイン。やってみたい習い事でも専門職系の資格講座が並んだ。
- シニアでは女性同様、趣味系のジャンルの人気が強。

男性ミドル層ではこれまで費用の高額さからベスト20に入ることのなかった「ビジネススクール・MBA」が初めてランクイン。「専門実践教育訓練給付金制度」による費用負担の減少が要因となっていると考えられる。また、ミドル層の「やってみたい習い事」では上位に専門職養成講座が数多く挙がった。人生100年時代に備え、長く活躍していくための準備に関心が高まったとみられる。

【本件に関するお問い合わせ先】
 株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

調査概要と回答者プロフィール

【2017年人気おケイコランキング ミドル・シニア編 調査概要】

調査目的： 35～49歳（ミドル）、50～69歳（シニア）の学び事・習い事の実態を把握するとともに、今後の意向を確認する

調査対象者：全国35～69歳の働く男女

（株式会社マクロミルのモニターにスクリーニングを行い、
学び事・習い事を「1年以内にしたことがある」と回答した者に対して実施）

調査方法： インターネットアンケート調査

調査期間： 2017年12月25日(月)～2017年12月27日(水)

回収数：

	女性	男性
35～49歳	518	518
50～69歳	517	518

あらかじめ設定した下記の6ブロックの地域から、平成22年国勢調査の人口比率で男女／年齢帯別に回収

- ・北海道・東北地方（北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）
- ・関東地方（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県）
- ・中部地方（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県）
- ・関西地方（大阪府、京都府、奈良県、兵庫県、滋賀県、和歌山県）
- ・中国・四国地方（岡山県、広島県、鳥取県、島根県、山口県、香川県、愛媛県、高知県、徳島県）
- ・九州・沖縄地方（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）

【回答者プロフィール】

◆ 居住地

	女性		男性	
	35～49歳	50～69歳	35～49歳	50～69歳
北海道・東北	10.6%	12.8%	10.2%	12.3%
関東	35.9%	31.9%	36.8%	33.6%
中部	17.8%	18.0%	18.7%	18.1%
関西	16.8%	16.1%	15.8%	15.4%
中国・四国	8.3%	9.1%	8.1%	8.9%
九州・沖縄	10.6%	12.2%	10.0%	11.6%

（参考 20～34歳調査）

20～34歳	女性	男性
北海道・東北	10.2%	10.2%
関東	36.3%	37.3%
中部	17.4%	18.0%
関西	16.8%	15.8%
中国・四国	8.1%	8.1%
九州・沖縄	11.2%	10.6%

◆ 雇用形態

	女性		男性	
	35～49歳	50～69歳	35～49歳	50～69歳
会社員・契約・派遣社員	62.2%	41.8%	80.6%	68.1%
公務員・団体職員	2.5%	3.7%	6.0%	13.9%
自営・フリーランス	8.5%	13.3%	10.2%	15.5%
アルバイト・パート	26.8%	41.2%	3.1%	2.5%

（参考 20～34歳調査）

20～34歳	女性	男性
会社員・契約・派遣社員	72.8%	80.9%
公務員・団体職員	6.4%	9.3%
自営・フリーランス	3.9%	3.3%
アルバイト・パート	17.0%	6.6%

※小数点2位で四捨五入しているため、一部合計が100%にならない項目があります。

【学び事・習い事選択肢一覧】

1	英語	51	イタリア料理
2	フランス語	52	中華料理
3	イタリア語	53	エスニック料理（ベトナム、タイ、インド）
4	スペイン語	54	日本料理・懐石料理
5	中国語	55	薬膳・漢方※※
6	韓国語	56	パン
7	ワード・エクセル	57	お菓子
8	アクセス	58	お茶（紅茶、煎茶、中国茶）
9	WEBクリエイティブ	59	ワイン・チーズ
10	DTP	60	食育※※
11	SE・プログラマ	61	メイク
12	簿記	62	カラー（コーディネート、セラピー）
13	宅地建物取引士	63	ネイル
14	税理士	64	アロマセラピー
15	行政書士	65	リフレクソロジー
16	司法書士	66	茶道（抹茶）
17	ファイナンシャルプランナー	67	マナー・フィニッシング
18	中小企業診断士	68	着付け
19	社会保険労務士	69	フラワーアレンジメント
20	公認会計士	70	プリザーブドフラワー
21	ビジネススクール・MBA	71	生け花
22	インテリアコーディネーター	72	ガーデニング
23	CAD	73	書道
24	ライター・編集・シナリオ	74	ペン字
25	心理・カウンセリング	75	フィットネスクラブ
26	医療（看護・医療事務など）	76	エアロビクス・ボクササイズ
27	ホームヘルパー・介護福祉※	77	ゴルフ
28	幼児教育（保育士・ベビーシッターなど）	78	テニス
29	ブライダルコーディネーター	79	乗馬
30	エステティシャン	80	タイピング
31	整体・マッサージ	81	サーフィン・ボディーボード
32	トリマー	82	ボルダリング※※
33	ヴォーカル・カラオケ	83	ヨガ・ピラティス
34	ゴスペル	84	ウォーキング
35	ピアノ	85	太極拳
36	バイオリン	86	護身術
37	フルート	87	空手※※
38	サックス	88	日本舞踊
39	ウクレレ	89	社交ダンス
40	ギター	90	バレエ
41	ドラム	91	ジャズダンス
42	琴	92	ストリートダンス
43	三味線・三線	93	タップダンス
44	絵画	94	フラメンコ
45	陶芸	95	フラダンス
46	ジュエリー・アクセサリ	96	サルサ
47	編み物・刺しゅう	97	アルゼンチンタンゴ
48	写真・カメラ	98	ベリーダンス
49	家庭料理	99	その他
50	フランス料理		

※2016年までは「ホームヘルパー」 ※※2015年から選択肢に追加

【調査概要一覧】

	総回収数	調査期間	対象者※		調査方法
			性別	年齢	
2017年	2071名	2017年12月25日～27日	女性・男性	35～69歳	インター ネット アンケート 調査
2016年	835名	2016年12月21日～24日	女性・男性	35～64歳	
2015年	835名	2015年12月11日～13日	女性・男性	35～64歳	
2014年	1036名	2014年12月12日～14日	女性・男性	35～49歳	
2013年	1036名	2013年12月14日～16日	女性・男性	35～49歳	

※株式会社マクロミルのモニターにスクリーニングを行い、学び事・習い事を「1年以内にしたことがある」と答えた者のうち、「学生」「専業主婦」「無職」を除く者に対し実施。※2017年より回収数を拡大。また同時に、有職者の年齢上昇を踏まえて対象年齢を拡大。

ミドル層（35～49歳）女性においても、20～34歳と同様、「英語」が回答率を伸ばし、「ヨガ・ピラティス」を抑え1位に。ほか「家庭料理」「お菓子」などの習い事が人気上昇。

20～34歳女性の傾向と同様、35～49歳女性でも「英語」が回答率を伸ばし（16年20.0%→17年24.1%）、「ヨガ・ピラティス」を抑え1位に返り咲いた。35～49歳女性の英語を学んだ目的は「海外旅行を楽しみたいから」（26.4%）、「教養を高めるため」（25.6%）が多い。学んだ手段に注目すると、「スマホ・PCでの動画視聴」（全体13.5%：35～49歳15.6%）、「スマホ・PCでのオンライン教授」（同12.0%：21.9%）、「スマートフォンやタブレット端末のアプリ」（同8.6%：15.6%）といった手段の利用は35～49歳女性については全体に比べ多く、こうした手段の浸透が「英語」の伸びの一員となっていると考えられる。（P.12 参考資料参照）

昨年1位だった「ヨガ・ピラティス」は2位となったが、回答率はほぼ変化がなく（16年21.0%→17年20.5%）、人気は堅調。

ほか順位を上げたのは「家庭料理」（16年8位→17年5位）、「お菓子」（同14位→9位）、「フラワーアレンジメント」（同27位→12位）といった趣味系の習い事。

（※12位の「ホームヘルパー・介護福祉」は16年の「ホームヘルパー」（16年38位）から選択肢の名称を変更した影響が大きいと思われる）。

【ミドル層・女性】 この1年間に実施した学び事・習い事 ベスト20（複数回答）

順位					この1年間に実施した学び事・習い事 ミドル層・女性	回答率 (%)					ポイント差 17-16年
17年	16年	15年	14年	13年		17年	16年	15年	14年	13年	
1位	2位	1位	1位	1位	英語	24.1	20.0	19.5	25.3	22.2	4.1
2位	1位	1位	2位	2位	ヨガ・ピラティス	20.5	21.0	19.5	18.9	14.7	-0.5
3位	3位	3位	4位	3位	フィットネスクラブ	8.3	11.4	10.5	11.4	11.4	-3.1
4位	4位	4位	6位	4位	簿記	5.8	7.1	10.0	8.3	7.7	-1.3
5位	8位	5位	3位	4位	家庭料理	5.2	4.8	7.1	11.6	7.7	0.4
6位	5位	7位	5位	6位	パン	4.6	6.2	6.2	10.6	6.2	-1.6
7位	5位	5位	10位	7位	フード・エクセル	4.2	6.2	7.1	5.6	6.0	-2.0
7位	8位	7位	7位	11位	医療（看護・医療事務など）	4.2	4.8	6.2	6.6	4.8	-0.6
9位	14位	9位	8位	14位	お菓子	3.9	3.8	5.7	5.8	4.2	0.1
10位	14位	11位	21位	23位	韓国語	3.7	3.8	5.2	3.1	2.9	-0.1
11位	8位	12位	16位	16位	ピアノ	3.5	4.8	4.8	3.7	4.1	-1.3
12位	7位	12位	11位	14位	書道	3.3	5.2	4.8	5.0	4.2	-1.9
12位	27位	23位	14位	12位	フラワーアレンジメント	3.3	1.9	2.4	3.9	4.6	1.4
12位	38位	19位	19位	28位	ホームヘルパー・介護福祉（※）	3.3	1.4	2.9	3.3	2.3	1.9
15位	18位	33位	16位	30位	ペン字	3.1	3.3	1.4	3.7	2.1	-0.2
16位	18位	26位	23位	19位	心理・カウンセリング	2.9	3.3	1.9	2.7	3.3	-0.4
16位	18位	33位	24位	18位	テニス	2.9	3.3	1.4	2.5	3.5	-0.4
16位	23位	16位	16位	16位	ファイナンシャルプランナー	2.9	2.4	3.3	3.7	4.1	0.5
16位	27位	19位	38位	26位	フランス語	2.9	1.9	2.9	1.4	2.7	1.0
20位	27位	26位	24位	48位	中国語	2.7	1.9	1.9	2.5	1.2	0.8

（13～14年・17年 N=518、15～16年 N=210）

※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。

※「その他」の回答を除いて掲載。

※「ホームヘルパー・介護福祉」は2016年まで「ホームヘルパー」。

※ピンクのアイテムは順位・回答率がともに上昇しているもの、ブルーのアイテムはともに下降しているもの。

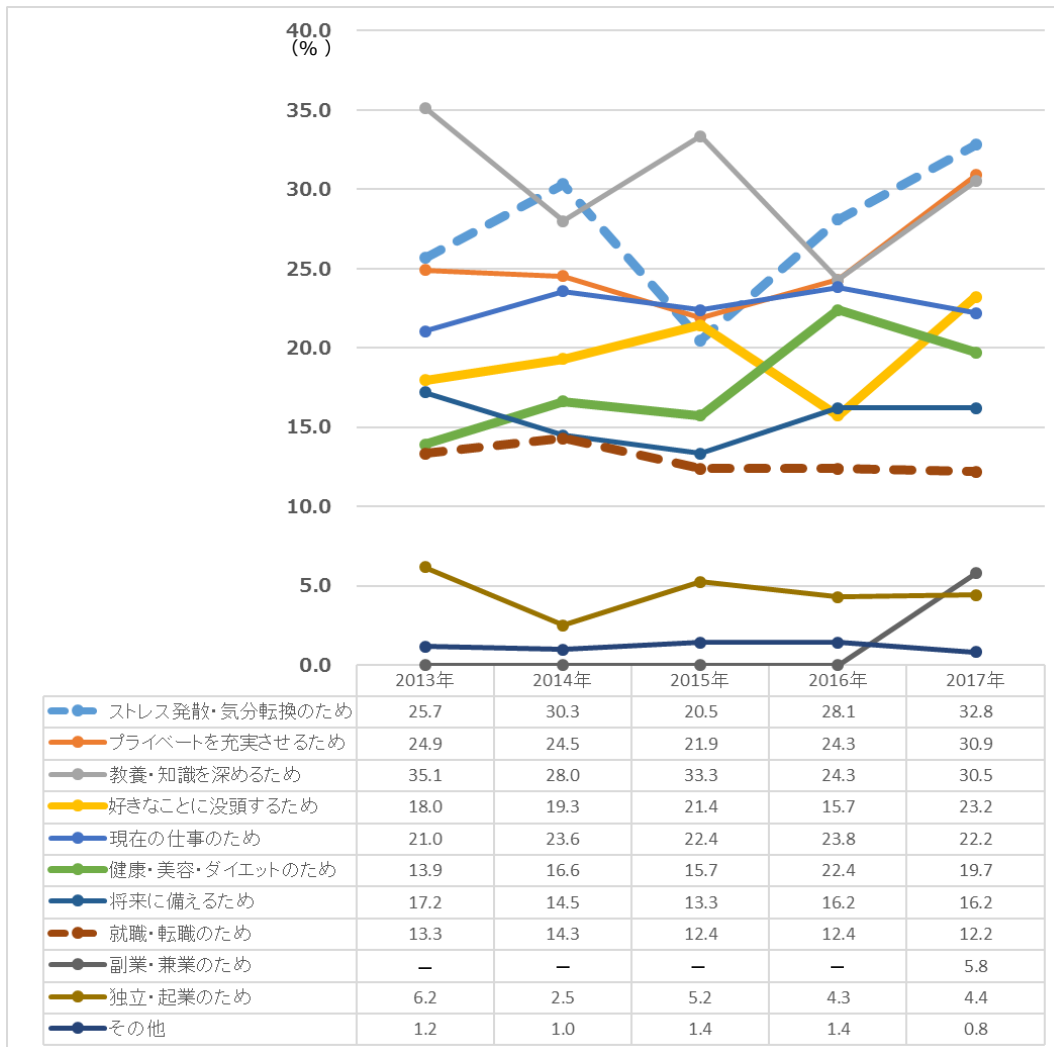
※回答率は小数点2位で四捨五入。

「**ストレス発散・気分転換のため**」が前年に続き実施目的の1位に。上位を「**プライベートを充実させるため**」「**教養・知識を深めるため**」といった現在の生活を充実させる目的の項目が続いた。一方「**現在の仕事のため**」や「**就職・転職のため**」といったキャリアに関わる目的の項目の回答率は横ばい。

この1年間で実施した学び事・習い事についてその実施目的を聞いたところ、「**ストレス発散・気分転換のため**」がポイントを上げ、前年に続いて1位となった。つづいて「**プライベートを充実させるため**」「**教養・知識を深めるため**」「**好きなことに没頭するため**」といった、現在の生活を充実させることを目的とし、趣味系の習い事につながりやすい目的の項目が上位を占めた。

「**現在の仕事のため**」「**将来に備えるため**」「**就職・転職のため**」といった自らのキャリアに関連する項目の回答率にはあまり変動がなかった。

【ミドル層・女性】 学び事・習い事の実施目的（3つまでの複数回答）（13～14年・17年 N=518、 15～16年 N=210）



※「副業・兼業のため」は2017年度より選択肢に加えたため、2016年まではデータなし。

※「健康・美容・ダイエットのため」は昨年まで「健康のため」、「現在の仕事のため」は同「仕事のため」。

50～69歳女性でも1位は「英語」、2位は「ヨガ・ピラティス」。
 「フラワーアレンジメント」「ウォーキング」がランクアップ。
 仕事関連の学びでは「ワード・エクセル」が大きく順位を上げ14位にランクイン。

50～69歳女性でも1位は「英語」。学んだ手段ではほかの年齢帯に比べ「カルチャーセンター・市民講座・公民館」（全体4.3%：50～69歳女性8.8%）「個人やサークルによる勉強会・読書会・講習会」（同5.5%：20.6%）が目立つ。英語を学んだ目的として「旅行や観光で訪れる外国人の応対やボランティアのため」を挙げた人も多く（同3.9%：7.7%）、この層の地域とのつながりの強さがしのばれる。（P.12 参考資料参照）

趣味系の習い事が上位を占めるなか「ワード・エクセル」が大きく順位を上げてランクイン。求人環境の好調さから新たに就業をめざして学び始めた層に選ばれていると想定される。

【シニア層・女性】 この1年間に実施した学び事・習い事 ベスト15（複数回答）

順位			この1年間に実施した学び事・習い事 シニア層・女性	回答率 (%)			ポイント差 17-16年
17年	16年	15年		17年	16年	15年	
1位	1位	1位	英語	20.1	25.0	23.6	-4.9
2位	2位	2位	ヨガ・ピラティス	19.9	17.3	12.5	2.6
3位	3位	2位	フィットネスクラブ	13.2	11.1	12.5	2.1
4位	5位	9位	エアロビクス・ボクササイズ	6.6	6.7	6.3	-0.1
5位	7位	19位	書道	5.2	6.3	3.8	-1.1
6位	4位	5位	ピアノ	4.8	7.7	7.2	-2.9
6位	12位	13位	家庭料理	4.8	5.3	4.8	-0.5
8位	10位	7位	生け花	4.6	5.8	6.7	-1.2
9位	7位	13位	着付け	4.4	6.3	4.8	-1.9
9位	12位	13位	パン	4.4	5.3	4.8	-0.9
9位	15位	4位	フラワーアレンジメント	4.4	4.3	7.7	0.1
12位	30位	55位	ウォーキング	4.3	1.9	0.5	2.4
13位	15位	5位	テニス	4.1	4.3	7.2	-0.2
14位	12位	9位	韓国語	3.3	5.3	6.3	-2.0
14位	30位	7位	ワード・エクセル	3.3	1.9	6.7	1.4

(15～16年：50～64歳 N=208、17年：50～69歳 N=517)
 ※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。
 ※「その他」の回答を除いて掲載。
 ※ピンクのアミガケは順位・回答率がともに上昇しているもの、ブルーのアミガケはともに下降しているもの。
 ※回答率は小数点2位で四捨五入。

【シニア層・女性】 学び事・習い事の実施目的（3つまでの複数回答）

	17年	16年
プライベートを充実させるため	39.5	20.2
教養・知識を深めるため	32.7	32.2
ストレス発散・気分転換のため	31.9	18.8
好きなことに没頭するため	30.4	27.9
健康・美容・ダイエットのため	24.6	23.1
現在の仕事のため	15.1	15.4
将来に備えるため	8.9	11.1
副業・兼業のため	5.4	-
就職・転職のため	5.2	6.3
独立・起業のため	2.5	3.4
その他	2.5	2.4
レベルアップのため	-	19.7
特技を作るため	-	11.1
人との出会いづくりのため	-	7.7
美容のため	-	4.8
ダイエットのため	-	2.9

(%)

(17年：50～69歳 N=517、16年：50～64歳 N=208)
 ※「副業・兼業のため」は17年より選択肢に加えたため、16年はデータなし。
 ※「健康・美容・ダイエットのため」は16年は「健康のため」、「現在の仕事のため」は同「仕事のため」。
 ※「レベルアップのため」「特技を作るため」「人との出会いづくりのため」「美容のため」「ダイエットのため」の選択肢は17年には選択肢としなかったためデータなし。
 ※回答率は小数点2位で四捨五入。

「今後やってみたい学び事・習い事」では、両年齢帯とも昨年同様、「英語」が人気を集めているほか、上位には趣味系の習い事が多く並んだ。

◆今後やってみたい学び事・習い事ランキング ベスト20（複数回答）

【ミドル層・女性】

順位			今後やってみたい学び事・習い事 ミドル層・女性	回答率 (%)			ポイント差 17-16年
17年	16年	15年		17年	16年	15年	
1位	1位	1位	英語	40.3	37.6	36.7	2.7
2位	2位	2位	ヨガ・ピラティス	21.8	23.3	24.8	-1.5
3位	4位	8位	家庭料理	13.7	12.4	10.5	1.3
4位	3位	3位	パン	12.2	12.9	13.3	-0.7
5位	9位	3位	ペン字	11.4	8.1	13.3	3.3
6位	9位	5位	書道	11.0	8.1	12.9	2.9
7位	5位	11位	心理・カウンセリング	10.8	11.9	9.5	-1.1
8位	6位	7位	お菓子	10.6	10.0	11.0	0.6
9位	15位	11位	ワード・エクセル	9.3	6.7	9.5	2.6
9位	20位	11位	アロマテラピー	9.3	5.7	9.5	3.6
11位	7位	9位	ピアノ	9.1	9.5	10.0	-0.4
11位	24位	16位	簿記	9.1	5.2	7.6	3.9
13位	7位	6位	フィットネスクラブ	8.1	9.5	11.4	-1.4
14位	15位	30位	フランス語	7.9	6.7	5.2	1.2
14位	20位	20位	お茶（紅茶、煎茶、中国茶）	7.9	5.7	6.7	2.2
16位	13位	25位	薬膳・漢方	7.3	7.6	6.2	-0.3
17位	15位	9位	ファイナンシャルプランナー	7.1	6.7	10.0	0.4
17位	24位	47位	整体・マッサージ	7.1	5.2	3.3	1.9
19位	13位	27位	医療（看護・医療事務など）	6.9	7.6	5.7	-0.7
19位	50位	65位	リフレクソロジー	6.9	2.9	2.4	4.0

(15~16年 N=210, 17年 N=518)
 ※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。
 ※ピンクのアミガケは順位・回答率がともに上昇しているもの、ブルーのアミガケはともに下降しているもの。
 ※「その他」の回答を除いて掲載。
 ※回答率は小数点2位で四捨五入。

【シニア層・女性】

順位		今後やってみたい学び事・習い事 シニア層・女性	回答率 (%)		ポイント差 17-16年
17年	16年		17年	16年	
1位	1位	英語	34.0	29.3	4.7
2位	2位	ヨガ・ピラティス	19.0	16.8	2.2
3位	3位	フィットネスクラブ	11.0	8.2	2.8
4位	3位	書道	9.9	8.2	1.7
5位	6位	ピアノ	9.1	7.2	1.9
6位	10位	心理・カウンセリング	8.7	6.7	2.0
7位	5位	家庭料理	8.5	7.7	0.8
8位	10位	パン	8.1	6.7	1.4
9位	25位	フラワーアレンジメント	7.9	4.3	3.6
10位	25位	着付け	7.5	4.3	3.2
11位	6位	ペン字	7.4	7.2	0.2
11位	18位	薬膳・漢方	7.4	5.3	2.1
13位	25位	アロマテラピー	7.2	4.3	2.9
14位	10位	お菓子	7.0	6.7	0.3
15位	10位	エアロビクス・ボクササイズ	6.8	6.7	0.1
16位	21位	中国語	6.6	4.8	1.8
17位	6位	編み物・刺しゅう	6.0	7.2	-1.2
17位	46位	カラー（コーディネート、セラピー）	6.0	2.4	3.6
19位	6位	韓国語	5.8	7.2	-1.4
19位	21位	太極拳	5.8	4.8	1.0
19位	39位	イタリア語	5.8	2.9	2.9

(17年 50~69歳 N=517 16年 : 50~64歳 N=208)
 ※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。
 ※ピンクのアミガケは順位・回答率がともに上昇しているもの、ブルーのアミガケはともに下降しているもの。
 ※「その他」の回答を除いて掲載。
 ※回答率は小数点2位で四捨五入。

ミドル層（35～49歳）男性では、1位は今年も2位以下を引き離し「英語」。制度改正で注目され昨年2位にランクインした「宅地建物取引士」は5位に。また、専門実践教育訓練給付金の対象となり費用面でのハードルが下がっている「ビジネススクール・MBA」が順位を上げ、調査開始以来はじめてランクイン。

2013年より調査を開始したミドルの男性については、これまで同様「英語」が2位以下を大きく引き離して1位を継続。英語を学んだ目的を問うと、「仕事で必要だから」という回答が34.0%（全体22.4%）と、女性や他の年齢帯にくらべ圧倒的に高いのが特徴的。（P.12 参考資料参照）

16年に制度改正で注目され2位となった「宅地建物取引士」は17年は順位を下げたものの過去と同程度の水準に落ち着き、5位となった。

趣味系の習い事では「フィットネスクラブ」（16年7位→17年3位）「写真・カメラ」（同17位→11位）「ヨガ・ピラティス」（同26位→15位）といった習い事が、女性のランキングでの傾向と同様に順位を上げている。

注目されるのは、大きく順位を上げた「ビジネススクール・MBA」（同33位→15位）。他の学び事・習い事に比べ費用が高額なため、これまで「やってみたい習い事ランキング」には登場しても「実施した習い事ランキング」ではベスト20の圏外であったが、17年ははじめてランクイン。働き方改革で平日夜間や土日に通学することが可能になったことに加え、多くのビジネススクールが「専門実践教育訓練給付金」の対象となったことで費用負担が軽減されたことが影響しているのではないかと考えられる。

【ミドル層・男性】 この1年間に実施した学び事・習い事 ベスト20（複数回答）

順位					この1年間に実施した学び事・習い事 ミドル層・男性	回答率 (%)					ポイント差 17-16年
17年	16年	15年	14年	13年		17年	16年	15年	14年	13年	
1位	1位	1位	1位	1位	英語	37.5	30.6	27.3	35.9	28.0	6.9
2位	3位	2位	2位	3位	簿記	8.5	8.1	12.9	9.1	9.3	0.4
3位	7位	4位	3位	2位	フィットネスクラブ	8.1	5.3	7.2	8.9	9.8	2.8
4位	4位	3位	4位	7位	ゴルフ	6.6	6.7	7.7	6.6	5.4	-0.1
5位	2位	9位	7位	5位	宅地建物取引士	6.2	11.0	4.8	5.8	6.9	-4.8
6位	6位	6位	5位	4位	ファイナンシャルプランナー	5.8	5.7	5.7	6.4	8.7	0.1
7位	11位	5位	6位	6位	ワード・エクセル	5.0	3.3	6.2	6.0	6.6	1.7
7位	17位	25位	14位	10位	中国語	5.0	1.9	1.9	3.1	3.7	3.1
9位	8位	13位	8位	8位	SE・プログラマ	4.8	4.8	2.9	5.0	4.8	0.0
10位	4位	6位	11位	10位	テニス	4.4	6.7	5.7	3.9	3.7	-2.3
11位	17位	25位	23位	17位	写真・カメラ	4.2	1.9	1.9	1.9	2.3	2.3
12位	11位	25位	27位	31位	家庭料理	4.1	3.3	1.9	1.4	1.0	0.8
13位	13位	6位	11位	14位	社会保険労務士	3.5	2.9	5.7	3.9	2.9	0.6
14位	9位	19位	20位	15位	ギター	3.1	3.8	2.4	2.1	2.7	-0.7
15位	9位	9位	14位	9位	行政書士	2.9	3.8	4.8	3.1	4.4	-0.9
15位	15位	13位	9位	16位	WEBクリエイティブ	2.9	2.4	2.9	4.4	2.5	0.5
15位	26位	13位	19位	24位	ヨガ・ピラティス	2.9	1.4	2.9	2.3	1.5	1.5
15位	33位	25位	27位	26位	ビジネススクール・MBA	2.9	1.0	1.9	1.4	1.4	1.9
15位	64位	32位	37位	52位	お菓子	2.9	0.0	1.4	0.8	0.4	2.9
20位	33位	19位	37位	24位	書道	2.5	1.0	2.4	0.8	1.5	1.5

(13～14年・17年 N=518、15～16年 N=209)

※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。

※「その他」の回答を除いて掲載。

※ピンクのアミガケは順位・回答率がともに上昇しているもの、ブルーのアミガケはともに下降しているもの。

※回答率は小数点2位で四捨五入。

男性・ミドル層では、回答者の4割以上が「現在の仕事のため」と答えており、他の目的を大きく引き離して実施目的の1位に。

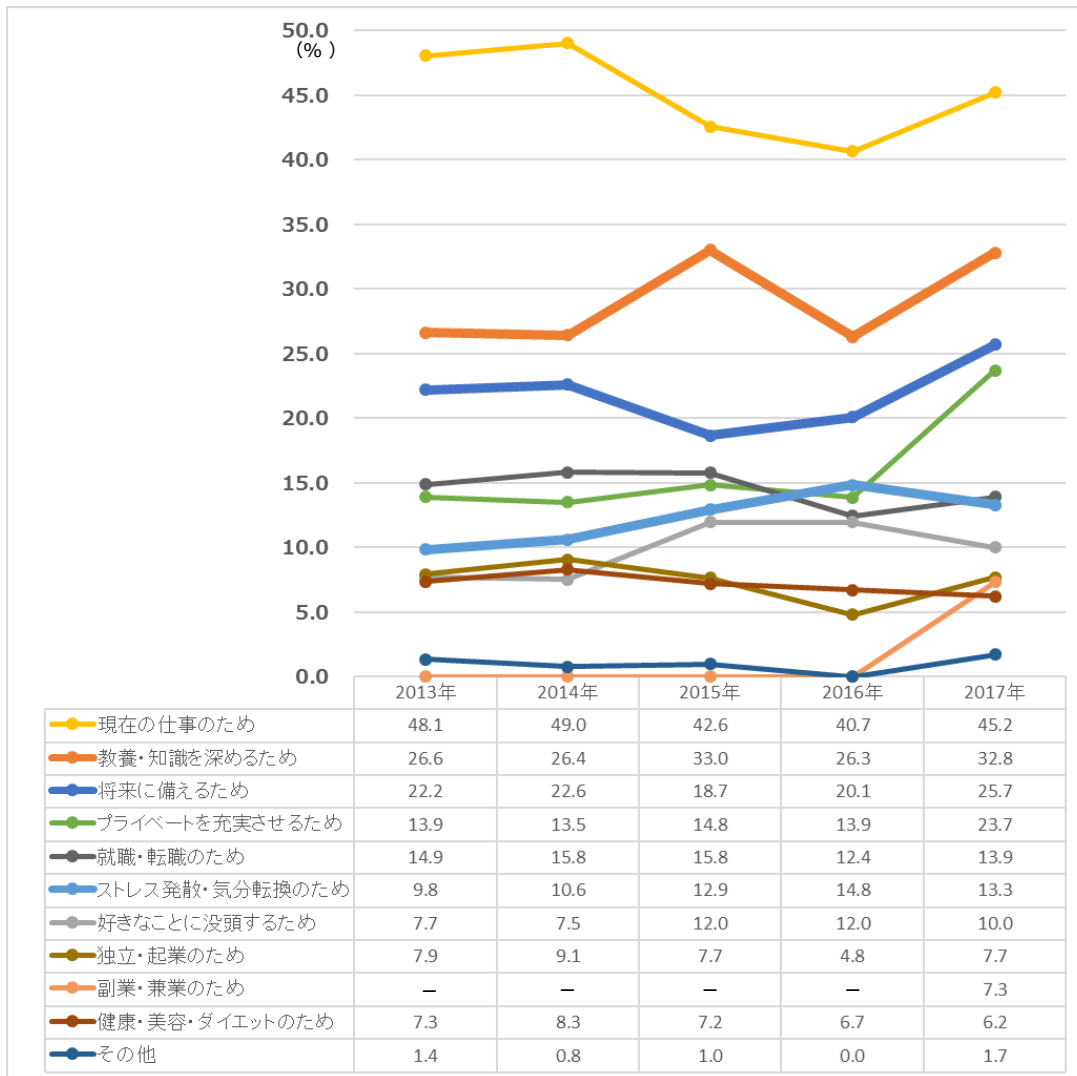
「教養・知識を深めるため」や「将来に備えるため」「就職・転職のため」といったキャリアに関する項目もポイントを上げている。

この1年間で実施した学び事・習い事について、その実施目的を聞いたところ、1位は昨年までと変わらず「現在の仕事のため」。

また、20～34歳男性や女性の場合と異なり「将来に備えるため」「就職・転職のため」といった目的もポイントをアップさせている。ミドル層の男性には、「人生100年時代」に備え、長く働き続けるために今から準備をはじめようという意欲・関心が高まっているのではないかと考えられる。

【ミドル層・男性】 学び事・習い事の実施目的（3つまでの複数回答）

(13～14年・17年 N=518、15～16年 N=209)



※「副業・兼業のため」は2017年度より選択肢に加えたため、2016年まではデータなし。

※「健康・美容・ダイエットのため」は昨年まで「健康のため」、「現在の仕事のため」は同「仕事のため」。

シニア層（50～69歳）の男性でも、1位は2位以下を大きく引き離し「英語」。ほか「フィットネスクラブ」「ウォーキング」が順位を上げており、健康への関心の高さがうかがわれる。

シニア層男性の実施した習い事1位は、調査を開始した15年以来変わらず「英語」。50～69歳女性と異なり「カルチャーセンター・公開講座・公民館」や「個人やサークルによる勉強会・読書会・講習会」の利用は多くはないが、英語を学ぶ目的として「旅行や観光で訪れる外国人の応対やボランティアのため」を上げる人は多くなっており（全体3.9%：50～69歳男性7.4%）これは50～69歳女性と同様の傾向。（P.12 参考資料参照）ほか、「フィットネスクラブ」（16年3位→17年2位）「ウォーキング」（同15位→4位）「ヨガ・ピラティス」（同31位→15位）といった健康志向の講座と「写真・カメラ」（同11位→5位）が順位を上げた。

【シニア層・男性】 この1年間に実施した学び事・習い事 ベスト15（複数回答）

順位			この1年間に実施した学び事・習い事 シニア層・男性	回答率 (%)			ポイント差 17-16年
17年	16年	15年		17年	16年	15年	
1位	1位	1位	英語	34.0	27.4	31.7	6.6
2位	3位	3位	フィットネスクラブ	11.2	7.2	9.1	4.0
3位	2位	2位	ゴルフ	8.5	8.7	10.6	-0.2
4位	15位	38位	ウォーキング	5.0	2.9	1.0	2.1
5位	11位	13位	写真・カメラ	4.8	3.8	3.4	1.0
6位	4位	4位	簿記	4.6	6.7	7.2	-2.1
7位	6位	13位	中国語	4.4	5.3	3.4	-0.9
8位	7位	10位	テニス	3.9	4.8	4.8	-0.9
9位	7位	7位	ワード・エクセル	3.7	4.8	6.3	-1.1
9位	11位	4位	宅地建物取引士	3.7	3.8	7.2	-0.1
9位	24位	23位	家庭料理	3.7	1.4	1.9	2.3
12位	7位	4位	ファイナンシャルプランナー	3.3	4.8	7.2	-1.5
13位	31位	21位	ギター	3.1	1.0	2.4	2.1
14位	5位	10位	ピアノ	2.9	5.8	4.8	-2.9
15位	11位	12位	行政書士	2.7	3.8	4.3	-1.1
15位	16位	7位	社会保険労務士	2.7	2.4	6.3	0.3
15位	31位	30位	ヨガ・ピラティス	2.7	1.0	1.4	1.7

（15～16年 50～64歳 N=208、17年 50～69歳 N=518）
 ※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。
 ※「その他」の回答を除いて掲載。
 ※ピンクの阿米ガケは順位・回答率がともに上昇しているもの、ブルーの阿米ガケはともに下降しているもの。
 ※回答率は小数点2位で四捨五入。

【シニア層・男性】 学び事・習い事の実施目的（複数回答3つまで）

	17年	16年
現在の仕事のため	33.4	36.1
教養・知識を深めるため	32.6	33.2
プライベートを充実させるため	27.2	17.8
好きなことに没頭するため	16.6	12.5
将来に備えるため	16.4	16.8
ストレス発散・気分転換のため	14.7	9.1
健康・美容・ダイエットのため	12.7	7.2
就職・転職のため	8.9	6.7
副業・兼業のため	6.8	-
独立・起業のため	6.0	7.2
その他	2.3	1.9
レベルアップのため	-	25.0
特技を作るため	-	9.6
人との出会いづくりのため	-	5.8
美容のため	-	0.5
ダイエットのため	-	1.9

(%)

（17年：50～69歳 N=518、16年：50～64歳 N=208）
 ※「副業・兼業のため」は17年より選択肢に加えたため、16年はデータなし。
 ※「健康・美容・ダイエットのため」は16年は「健康のため」、「現在の仕事のため」は同「仕事のため」。
 ※「レベルアップのため」「特技を作るため」「人との出会いづくりのため」「美容のため」「ダイエットのため」の選択肢は17年には選択肢としなかったためデータなし。
 ※回答率は小数点2位で四捨五入。

今後やってみたい学び事・習い事では、

ミドル・シニアともに4割以上が「英語」を挙げた。

ほか、35~49歳男性では専門職として独立も視野に入れることができる資格系の講座が順位を上げている。

長く働き続けるための準備に高い関心が集まっているのではないかと考えられる。

◆今後やってみたい学び事・習い事ランキング ベスト20 (複数回答)

【ミドル層・男性】

順位			今後やってみたい学び事・習い事 ミドル層・男性	回答率 (%)			ポイント差 17-16年
17年	16年	15年		17年	16年	15年	
1位	1位	1位	英語	43.6	37.8	38.8	5.8
2位	3位	3位	ファイナンシャルプランナー	10.4	8.1	8.6	2.3
3位	5位	2位	簿記	10.0	7.2	9.6	2.8
4位	7位	5位	宅地建物取引士	9.5	5.7	7.2	3.8
5位	14位	19位	中国語	9.3	4.3	4.8	5.0
6位	17位	28位	SE・プログラマ	7.5	3.8	3.3	3.7
7位	11位	7位	社会保険労務士	7.3	4.8	6.7	2.5
8位	7位	5位	写真・カメラ	6.6	5.7	7.2	0.9
8位	17位	14位	中小企業診断士	6.6	3.8	5.3	2.8
10位	14位	14位	WEBクリエイティブ	6.4	4.3	5.3	2.1
11位	4位	7位	ギター	6.2	7.7	6.7	-1.5
11位	6位	14位	フィットネスクラブ	6.2	6.2	5.3	0.0
13位	9位	7位	ワード・エクセル	6.0	5.3	6.7	0.7
14位	2位	11位	ゴルフ	5.8	8.6	5.7	-2.8
14位	14位	14位	行政書士	5.8	4.3	5.3	1.5
16位	23位	11位	税理士	5.6	2.9	5.7	2.7
17位	21位	10位	家庭料理	5.4	3.3	6.2	2.1
18位	21位	21位	司法書士	4.6	3.3	4.3	1.3
18位	33位	39位	パン	4.6	1.9	2.4	2.7
20位	11位	4位	心理・カウンセリング	4.2	4.8	8.1	-0.6
20位	11位	28位	ピアノ	4.2	4.8	3.3	-0.6
20位	23位	32位	スペイン語	4.2	2.9	2.9	1.3

(15~16年 N=209, 17年N=518)
 ※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。
 ※「その他」の回答を除いて掲載。
 ※回答率は小数点2位で四捨五入。

【シニア層・男性】

順位		今後やってみたい学び事・習い事 シニア層・男性	回答率 (%)		ポイント差 17-16年
17年	16年		2017	2016	
1位	1位	英語	40.7	37.5	3.2
2位	2位	ゴルフ	8.7	8.2	0.5
3位	28位	中国語	8.3	2.9	5.4
4位	10位	家庭料理	7.9	4.8	3.1
5位	5位	フィットネスクラブ	7.7	6.3	1.5
6位	3位	写真・カメラ	7.5	7.7	-0.2
7位	10位	ギター	7.1	4.8	2.3
8位	6位	ファイナンシャルプランナー	6.4	5.8	0.6
9位	9位	ピアノ	5.6	5.3	0.3
10位	12位	社会保険労務士	5.4	4.3	1.1
11位	42位	パン	5.2	1.4	3.8
12位	14位	ウォーキング	4.8	3.8	1.0
13位	12位	宅地建物取引士	4.6	4.3	0.3
14位	6位	簿記	4.4	5.8	-1.4
15位	6位	ワイン・チーズ	4.2	5.8	-1.6
16位	4位	心理・カウンセリング	4.1	7.2	-3.1
16位	14位	韓国語	4.1	3.8	0.3
16位	23位	書道	4.1	3.4	0.7
19位	31位	テニス	3.9	2.4	1.5
19位	35位	陶芸	3.9	1.9	2.0

(16年: 50~64歳 N=208, 17年: 50~69歳 N=518)
 ※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。
 ※「その他」の回答を除いて掲載 ※回答率は小数点2位で四捨五入。

英語を学んだ人の「実施目的」「学んだ手段」

※本文中で言及したものについて、数字を赤い楕円で囲んでいます。

【全年齢帯・男女】英語を学んだ人の「学んだ目的」

(英語を学んだ人N=927/単一回答/%※回答率は小数点2位で四捨五入)

英語を学んだ目的	全体	女性			男性		
		20～34歳	35～49歳	50～69歳	20～34歳	35～49歳	50～69歳
回答者数(人)	927	131	125	104	197	194	176
海外旅行を楽しみたいから	25.1	30.5	26.4	26.0	26.9	20.1	23.3
仕事で必要だから	22.4	13.7	17.6	14.4	21.3	34.0	25.6
教養を高めるため	21.4	26.0	25.6	27.9	17.8	17.0	19.9
TOEICや英検など英語の資格試験のため	6.6	2.3	9.6	8.7	8.1	6.7	4.5
外国の映画やホームページ、本を見たいから	6.3	6.9	7.2	7.7	6.1	4.6	6.3
外国人の友人が欲しいから	5.8	9.9	4.0	1.9	6.1	6.2	5.7
就職や転職を有利にしたいから	5.5	7.6	2.4	3.8	9.1	5.7	2.8
旅行や観光で訪れる外国人の応対やボランティアのため	3.9	1.5	3.2	7.7	1.5	3.1	7.4
その他	3.0	1.5	4.0	1.9	3.0	2.6	4.5

【全年齢帯・男女】英語を学んだ人の「学んだ手段」

(英語のみを学んだ人N=326/複数回答/%※回答率は小数点2位で四捨五入)

利用した手段	全体	女性			男性		
		20～34歳	35～49歳	50～69歳	20～34歳	35～49歳	50～69歳
回答者数(人)	326	38	32	34	73	71	78
スクール・教室・セミナーへの通学	37.7	55.3	28.1	47.1	46.6	35.2	23.1
書籍・問題集・DVDなどを購入しての独学	19.0	18.4	15.6	14.7	9.6	21.1	29.5
スマホ・PCでの動画視聴	13.5	10.5	15.6	14.7	8.2	15.5	16.7
スマホ・PCでのオンライン教授	12.0	13.2	21.9	8.8	6.8	11.3	14.1
テレビ	10.7	5.3	25.0	8.8	6.8	9.9	12.8
通信講座・通信制大学	10.1	10.5	15.6	5.9	11.0	12.7	6.4
ラジオ	9.2	5.3	18.8	11.8	1.4	11.3	11.5
スマートフォンやタブレット端末のアプリ	8.6	5.3	15.6	8.8	2.7	12.7	9.0
個人やサークルによる勉強会・読書会・講習会	5.5	2.6	6.3	20.6	4.1	2.8	3.8
その他インターネット	5.5	0.0	9.4	5.9	2.7	7.0	7.7
カルチャーセンター・市民講座・公民館	4.3	2.6	3.1	8.8	6.8	1.4	3.8
大学・大学院(履修証明プログラム・単科受講を含む)	2.8	5.3	3.1	0.0	8.2	0.0	0.0
専門学校・職業訓練校	2.5	2.6	0.0	0.0	8.2	0.0	1.3
自宅・職場などへの講師派遣	2.5	0.0	0.0	0.0	4.1	7.0	0.0
海外への留学	1.5	0.0	3.1	0.0	4.1	0.0	1.3
その他	1.5	0.0	0.0	2.9	0.0	1.4	3.8
ジム、フィットネスクラブ	1.2	0.0	3.1	2.9	2.7	0.0	0.0
大学の公開講座	0.9	2.6	3.1	0.0	1.4	0.0	0.0

(N=326) ※回答率は小数点2位で四捨五入。

「ケイコとマナブ 人気おケイコランキング2017 ミドル・シニア編」 に関する

ケイコとマナブムックシリーズ編集長 乾 喜一郎の見解

「ケイコとマナブ人気おケイコランキング」は、この一年間に何らかの学び事・習い事を実施した人を対象に、実施した学び事・習い事の内容やその目的、金額、今後実施したい学び事・習い事を調査しているもので、2005年の第一回発表以来、今年で14回目になります。当初は20～34歳女性を対象としておりましたが、順次対象を男性、そしてミドル層・シニア層へと広げてまいりました。学び事・習い事の実施動向は、その時その時の社会の動き、特に求人や就業環境の影響を強く受け変動します。そこで、今年のランキングから見えるポイントをまとめました。

<POINT>

1) プライベートの充実を目的とした趣味系の習い事の順位が上昇

今年のランキングでは、男女ともに趣味系の習い事の順位上昇が目立ちます。実施目的でもプライベートの充実に関わる目的が回答率を伸ばしています。こうした動きは過去にも、求人環境が好調な時期に見られた特徴です。

2) 男性ミドル層では「ビジネススクール・MBA」が初めてベスト20にランクイン。 「人生100年時代」を見据え、長く働き続けるための学び事が上位に。 ミドルの「まなミドル」化がはじまった

他の層とは異なる動きを示しているのが男性ミドル層です。学んだ目的で「将来に備えるため」と答えた人が最も多く、今後やってみたい習い事でも定年を問わず働くことができる専門職資格が数多く上げられました。象徴的なのが「ビジネススクール・MBA」のランクイン。人生100年時代を見据えた国の「社会人の学び直し」支援で「専門実践教育訓練給付金」制度の対象となり費用負担が大きく軽くなったことも大きく影響していると思われます。

「これまでの仕事経験を棚卸し」「経験と結び付けて理論を肚に落とす」ミドルならではの学び。この動きは支援制度の充実もあり、2018年もよりいっそう、加速していくことでしょう。

※「リクルート 2018トレンド予測」社会人領域において、この動きを「まなミドル」と名づけた発表を行いました。詳しくはこちら→

http://www.recruit.jp/news_data/release/pdf/20171212_14.pdf

ケイコとマナブムックシリーズ編集長 乾 喜一郎 (いぬい きいちろう)

<プロフィール>

1992年東京大学教養学部卒、同年(株)リクルート入社。以来一貫して、進学・就職・転職といったキャリアに関する領域に携わり、2006年より現職。資格取得者や社会人大学院生など、これまで取り上げてきたライフヒストリーは3000例に及ぶ。また、社会人の学び直し、資格・検定の専門家として文部科学省などで各種有識者委員を歴任。
GCDF-Japanキャリアカウンセラー、日本キャリアデザイン学会会員、白百合女子大学非常勤講師。



<ケイコとマナブムックシリーズとは>

資格、通信講座・通信制大学、社会人大学院といった、社会人が自らキャリアを切り開くための「学び」に焦点をあてて都度発行。2018年度は7月に『スタディサプリ社会人大学院』、1月に『スタディサプリ通信制大学(仮)』を刊行予定。

<取材にお答えできます>

- ・「社会人の学び直し」「リカレント教育」に関する最新の政策動向や価値観の変化、マーケット動向
- ・【資格】 職業に関わる国家資格・民間資格の動向、学生・社会人など対象に応じた資格の選び方・活用法
- ・【社会人大学院・通信制大学】 社会人を対象とする大学・大学院・通信制大学の動向、社会人の活用ノウハウ